

専門外来のご案内

西宮渡辺病院にて新たな診療科の開始も合わせて、現在、下記の専門外来を行っています。気になる方はお気軽にご相談ください。診療日時に関しては、事前にお問い合わせください。



整形外科 肩関節専門外来	滋賀医科大学 整形外科 教授	今井 晋二 先生	月2回 土曜日午前
呼吸器外科専門外来	神戸大学 呼吸器外科 准教授	田中 雄悟 先生	第1土曜日 午前
眼科専門外来	兵庫医科大学 眼科 主任教授	五味 文 先生	月1回 木曜日 午前（不定期）
耳鼻咽喉科専門外来	関西医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授	岩井 大 先生	月1回 午前（不定期）
消化器 肝臓専門外来	近畿大学 消化器内科 主任教授	工藤 正俊 先生	月1回 午前（不定期）
眼科 網膜硝子体専門外来	兵庫医科大学 眼科 講師	佐藤 孝樹 先生	火曜 午後（不定期・完全予約制）

詳しくはこちらをご覧ください



社会医療法人渡邊高記念会 広報誌

わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine



vol.131

2024.1.25

新年のご挨拶

理事長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会 / 理事長

佐々木 恭子



あけましておめでとうございます。

「ウクライナの戦争、コロナ禍、物価の上昇に加え光熱費の高騰、昨年問題は全て持ち越した今年のお正月です。」これは昨年、2023年のわたなべニュースお正月号の冒頭です。コロナ禍は何とか共存の形で落ち着いたものの他の事は今年もまた持ち越しての新年です。追加事項はパレスチナガザ地区での戦闘や国内での政治と金の問題、身近で困った問題ではお薬の供給不足や人手不足と少子化の問題でしょうか？今年もまた今年こそはと願う新年、皆様は如何お過ごしでしょうか？気持ちを新たに明るい未来を願いつつ・・・今年も宜しくお願い致します。

西宮渡辺病院の増改築工事も今年早々に完成を予定しております。眼科や口腔外科(歯科)、耳鼻咽喉科の診療はすでに開始していますが今年は外来部門の強化、泌尿器科外来や婦人科外来の整備も行うと共に肩関節やスポーツに関わる整形外科診療の強化も予定しています。

本院でのMRIの入れ替え、センターのCTはまだ日本中で数台しか導入されていない地域初の最新機種に入れ替わり、短時間でより低被曝での検査となるはず。センターではハイブリッド手術室の更新も予定しており、皆様に安心して頂ける体制強化となることを願っています。病院はみなさまの為にある事を再認識しての年初めです。コロナ禍で中止していた様々な行事も再開し、地域コミュニティに貢献出来る医療、介護の展開を願っています。地域医療の担い手である私共はこれからも皆様のお役に立てる私どもでありたいと願っております。

今年も宜しくお願い致します。皆様のご健勝を祈りつつ、新年早々の能登半島地震の1日も早くの復興を願いつつ、どうか素敵な一年でありますようにと祈っています。

院長 ご挨拶

社会医療法人 渡邊高記念会 / 副理事長兼 西宮渡辺病院 / 院長

佐々木 健陽



あけましておめでとうございます。

新棟が完成し、本院との通路が開通しました！昨年新棟が完成し、「老いても自分のことは元気にできるように」を実現するために、眼科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科の診療を始めました。しかし、新棟への受診移動に当たり皆様には多大なるご不便をおかけしました。申し訳ありませんでした。本年より、通路が完成し、安全に気軽に受診できるようになりました。眼口鼻障害が少しでも気になったら 主治医や近くの職員に相談してください。早期発見、早期治療が健康で長生きの極意です。これからも、西宮渡辺病院は一層の力を注いで、地域の皆様の健康を守り続けます！

皆様の健康長寿を第一に考え、お手伝いできることがございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。本年も、よろしくお願い申し上げます。

管理者 ご挨拶

西宮渡辺心臓脳・血管センター / 管理者

増山 理



新年、明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。時の経つのは早いもので、西宮渡辺心臓脳・血管センターに私が参りましてこの3月でまる2年になります。センターは循環器内科(不整脈科を含む)・心臓血管外科・脳神経外科が中心の病院ですが、各科のスタッフも充実して参りました。救急車の受け入れを中心とした急性期医療だけでなく、慢性期疾患、さらにはリハビリテーションまでいろいろなステージの患者さまに最高の医療を提供できるようになってきたと自負しております。関連するセンター内各部門のメディカルスタッフと協力して今年もますます発展していきたいと思っております。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。今年が皆さまにとっても幸多い一年であることをお祈りいたします。

第115回 循環器診療セミナー in 西宮 開催報告

10月25日「第115回 循環器診療セミナー in 西宮」を10月に完成したばかりの西宮渡辺病院 新棟 大会議室にて開催させていただきました。一般講演Ⅰでは、西宮渡辺心臓脳・血管センター 循環器内科部長代理の波東 大地 医師より『困難症例に対するインターベンション』のテーマで、一般講演Ⅱでは、同じく当センター 循環器内科部長の山根 崇史 医師より『循環器救急における当院の取り組み』のテーマで講演を行いました。特別講演としましては、京都府立医科大学 循環器内科学・腎臓内科学 教授 的場 聖明 先生にお越しいただき、『健康寿命延伸に望まれるコミュニティ創成と心不全予防・治療 - 京丹後長寿コホート研究の成果と心臓カテーテル治療の進歩 -』のテーマで御講演頂きました。57名の方に参加をいただき、盛況に本セミナーを開催することができました。



部署紹介 西宮渡辺病院 4階病棟

西宮渡辺病院4階病棟は、令和5年11月1日新棟増築により、病床数58床の一般急性期病棟となりました。消化器内科・外科、呼吸器内科、整形外科を中心に新たに眼科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科の混合病棟となっています。看護師は、手術や化学療法、内視鏡による治療、検査など様々な治療を受ける患者さんの不安に寄り添い、安心して検査や手術が受けられるように援助しています。入院患者さんは、高齢者が多く、入院生活での変化に適應できるように支援するとともに、高齢者の特徴や役割を理解したうえでレクリエーション活動も取り組んでいます。患者さんが地域で安心して暮らし続けられるようにリハビリテーション、薬剤師、栄養科、MSW等多職種と連携し、退院後の生活を見据えた支援ができるよう努めています。



本館から新棟へのスロープ



4階病棟



法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院
西宮わたなべ内科・心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ / グループホームてまりの家 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり
すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション / 健康塾
通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター
- 社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階諸所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】 0798-74-2630 【FAX】 0798-74-0199
【URL】 <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>





西宮渡辺心臓脳・血管センター

副理事長 渡邊 慶明



あけましておめでとうございます。
また新たな年を迎えることができました。当法人は今年も地域医療のなめとなるべく、邁進していく所存です。本年は大きく設備の更新が行われる予定です。第一弾として本院のMRIがシーメンス社の最新鋭の3T MRIが導入されます。続いて、心臓脳・血管センターにおいて、次世代型のフォトンカウンティング型のCTが導入されます。また、同時に新型のハイブリットシステムも更新予定です。いくら設備が良くなってとも思われませんが、今年も皆様のご期待を裏切らない運営を願っております。引き続きどうか暖かいご支援とご協力をお願い致します。皆様のご健康とご健勝をお祈りしつつ、素敵な一年でありますように。

西宮渡辺病院

副理事長 佐々木 俊治



新年明けましておめでとうございます。
昨年度は、私たちの病院にとって大きな節目となる年でした。新棟の完成に伴い、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、眼科といった新しい診療科が誕生しました。これらの科では、最先端の設備を導入しており、特に眼科では最新の無散瞳眼底カメラを備え、今年も手術も予定しております。耳鼻咽喉科では、レーザー治療を導入し、花粉症の季節に向けて患者様のニーズに応えています。また、歯科口腔外科では、日頃通院が困難な方々が訪れやすい環境を整え、多くの方々から喜びの声をいただいております。本年度はMRIの入れ替えや既存の病棟のリフォームに加えて、整形外科を強化し、肩関節やスポーツ整形などの新しい診療領域を展開する計画です。新しい年を迎え、私たちは地域の皆様の健康と福祉にさらに貢献することを目指しています。今年も、皆様のご支援と信頼に応えられるよう、一層の努力をして参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺病院

副院長 岡田 憲幸



新年おめでとうございます。昨年は秋の新棟完成、3診療科の開設と飛躍の年になりました。救急は念願の2000件オーバーを達成し、外科は世代交代で若い二人のパワーにより症例数が大幅に増大しております。自分自身は、時々の手術手伝いと訪問診療、腫瘍内科、乳腺、そして一般内科の担当と幅広く仕事をいただいております。4月からは整形外科、内科医師ともますます増員になると聞いています。法人全体で大きな総合病院に匹敵する勢いが竜の如く続きますように祈念して年頭のあいさつに代えさせていただきます。

西宮渡辺病院

副院長 正田 悦朗



昨年も例年同様、高齢者の骨粗鬆症をベースとした股関節周囲骨折、肩関節周囲骨折、手首の骨折などとともに、比較的若い方の足関節周囲骨折、鎖骨骨折などの治療を、手術を中心に行ってきました。また、人工関節を受けられた方がその周囲で骨折を起こされることも増えています。スタッフに秋野先生が加わったことで、定型的な骨折ばかりでなく、かなり複雑な骨折や緊急を要する骨折、脱臼の治療も行うことができるようになってきました。骨折は適切なタイミングで適切な治療を行うことが重要です。新年に当たりまして、引き続き適切な治療をお届けしたいと考えています。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

院長 吉田 和則



新年あけましておめでとう御座います。昨年もスタッフの献身的なサポートのおかげで、無事1年を送る事ができました。心臓血管外科は、中尾佳永先生や畑田充俊先生に加え、平井康隆先生が赴任され、一層、診療内容の充実が認められました。患者層の高齢化や重症化により、従来からの手術方法だけでなく、ステントグラフト留置術、低侵襲手術やTAVIにより治療の幅を広げており、社会のニーズに照らし合わせつつ、先進医療を推し進めたいと考えております。今年も、阪神南地区の中核病院としての自覚を持ち診療に当たりたいと存じます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 藤田 博



新年あけましておめでとうございます。2023年は経皮的冠動脈形成術(PCI)の件数は約530例、兵庫県において有数の施設となっています。その内救急医療での症例は約160例あり、増加傾向にあります。24時間体制の循環器専門医による迅速な対応を継続すると共に、西宮市救急、芦屋市救急から循環器救急として頼りにされる施設として継続努力して参りたいと思います。また開業医の皆様や患者様から一番大切な人を受診させたいと思ってもらえる病院を目指して精進したいと思いますので、暖かい御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。また経カテーテル的大動脈弁植え込み術(TAVI)も対象が超高齢者になりますが、安全に施行できており、約45例とこちらも増加傾向にあります。治療を受けてよかった。そう思ってもらえる病院を目指して、努力して参りますことを決意して、新年のご挨拶とさせていただきます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 大森 一美



新年あけましておめでとうございます。
当センターに脳神経外科を設立し、6月で10年目を迎えます。当センターでは脳卒中の手術を中心に行っており、昨年の頸動脈内膜剥離術が57件となり、日本トップの手術件数となりました。また、脳梗塞に対する超急性期治療である血栓回収術が50件に上り、こちらも関西トップクラスの症例数となっております。これは、地域の医療機関や法人各施設、各診療科との病診連携で達成することが出来ました。今年も引き続き、地域の医療に貢献すべく、各方面との“連携”を大事にし、最善の医療を尽くして参りたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター

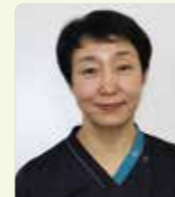
副院長 中尾 佳永



ますます専門病院としての進化が止まらない社会医療法人渡辺高記念会 西宮渡辺心臓脳・血管センター。その副院長に就任し、2年が経過しました。院長以下副院長の役割も明瞭化し、センターという組織が確立されてきたと思います。医師から多職種の職員の皆様と、日々連携し、当センターを専門病院としてさらに高められる様機めたいと考えます。西宮に限らず、遠方の患者様からも診療を希望して頂けるよう、当院について発信していけたらと考えます。これからもご指導ご協力の程、何卒よろしく願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 合田 亜希子



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。昨年、コロナウイルスは5類感染症に移行されましたが、インフルエンザの流行もあり、まだまだコロナ前と同様とはいかない実情です。しかし、循環器スタッフも充実しさらに複雑な疾患背景を有する患者さんにも対応できるようになっています。今年も各部門のメディカルスタッフとともに成長し、地域の医療に貢献できるよう努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

院長 樋田 昌平



新年あけましておめでとうございます。昨年は、コロナ禍の3年が過ぎてやっと落ち着きを取り戻してきた感じでしたが、年末からのインフルエンザの感染増大もあり、まだまだ感染対策には気の抜けない状況が続いています。回復期リハビリ病棟の効率的な運用には、本院やセンターとの連携が要になりますので、相互にコミュニケーションをしっかりと取っていきたく思います。さらに患者さんに満足していただけるリハビリ環境を提供できるように職員一同協力して頑張りたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック

院長 山室 淳



新年あけましておめでとうございます。2021年11月1日 神戸市東灘区に、西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニックを開院して、充実した医療サービスを提供できるように頑張っております。2023年 新年はコロナ感染症で苦勞いたしました。発熱外来を積極的に行った結果から、東灘・芦屋地域の患者さんより信頼を得ました。現在では、心臓・脳血管疾患の患者さんと神戸大学医学部付属病院 糖尿病内科専門医先生方のご協力から糖尿病疾患の患者さんも多く受診いただいております。東灘区深江地域近隣のご開業の先生方と協力し合い日常診療をいたしました結果から、多くの先生方と知り合える機会をいただきました。この度、神戸市東灘区医師会からご推薦をいただき、2024年4月より伝統ある、神戸市東灘区医師会 深江地区理事も就任させていただくこととなりました。益々、東灘における循環器疾患の治療に邁進していきますので、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

ミニにしのみやシティプロジェクトへ参加しました

11月5日(日)西宮市の兵庫県立芸術文化センター前の高松公園において「ミニにしのみやシティプロジェクト」が開催されました。

まちづくり事業の一環として、西宮青年会議所がハブとなって一般市民や各団体の交流やつなぎ役を实践する目的で開催されました。

このイベントに、当法人から医師・看護師を・救命救急士などの医療スタッフが救護班として参加いたしました。

当日は、看護師による血圧測定・健康チェックなどを行い、またラビッドレスポンスカーも出動させ、当イベントの安全な運営に協力いたしました。

社会医療法人 渡辺高記念会は、これからも地域の健康づくりのために、このようなイベントなどへの協力を行ってまいります。

今後の当法人の活動にご期待ください。

